

# 一社)千葉県公認心理師協会6月研修セミナー

## チームアプローチ・内外の資源との連携

### ～社会の変化をふまえた心理職の動きを考える～



クライアントのニーズや課題は、人と環境の相互作用によって生じます。そのため、我々心理職としての特性を効果的に社会に還元していくためには、内外の資源と連携・協働しながら、マイクロ・メゾ・マクロの視点を含む包括的なアプローチを行うことが必要です。

今回は午前中に医療法人学会木村病院の渡邊博幸院長より、チームアプローチについてご講演いただき、午後は臨床現場をとりまく社会環境の変化を踏まえた活動の実際をチームアプローチという視点からご報告いただきます。昨今、皆様の臨床現場も新型コロナウイルス感染症拡大をはじめ、さまざまな社会情勢の影響を受けていることと思います。現場の実践を通じた種々の知見をお互いシェアしながら、「今、できること」を皆様とともに考えられたら幸いです。

#### 【プログラム】 ※内容や時間は変更されることがあります

10:00～12:00

基調講演：『**チームアプローチの実際～心理職に期待すること～**』

特定医療法人学会木村病院院長 渡邊 博幸 氏

12:00～13:15 昼休憩

13:15～13:45 報告会

13:50～16:20

シンポジウム：『**社会の変化を踏まえたチームアプローチ**』

①教育領域の現場から 話題提供者：(仮)南館 宙 氏

(千葉県・千葉市スクールカウンセラー(スーパーバイザー))

②産業領域の現場から 話題提供者：藤里 智子 氏 (三菱マテリアル)

③自死対応領域の現場から 話題提供者：石川 雅子 氏 (元立ち寄り処ちば心のキャッチ相談員)

ディスカッション

16:20～16:30 総括、アナウンスなど

【基調講演講師プロフィール】 1992年3月千葉大学医学部卒業後、同大学医学部附属病院の精神神経科に入局。1998年3月千葉大学大学院修了、学位取得後、同年4月より同大学精神神経科助手となり、同講師を経て、2009年1月より、国保旭中央病院地域精神医療推進部長。2011年4月、千葉大学大学院医学研究院精神医学准教授。2013年10月、千葉大学社会精神保健教育研究センター特任教授。2016年4月より、特定医療法人学会木村病院院長／同センター特任教授併任。主な研究・実践テーマは、臨床精神薬理学、多職種連携協働モデル等。「抱える医療からつなぐ医療」をモットーに、ストレスケア、就労移行、産後メンタルケア、遠隔診療にも注力。



【日時】 **令和3年6月27日(日) 10:00～16:30** (9:00受付開始。本人確認の円滑化のため、段階的に入室いただく形を取らせていただきます。詳細はメールにてお知らせいたします)

【会場】 オンライン会議システム(Zoom)での開催となるため、ご自宅等からご参加いただけます(必ずプライバシーが守られる環境から、ビデオONでご参加下さい)。

【参加費】 本会正(準)会員 2,500円(本会会員の方は年会費と一緒に振込みいただけます)  
通信会員・当協会会員以外の臨床心理士・公認心理師 3,500円  
※一度納入された参加費は返金いたしませんのでご了承下さい。

【参加方法】 申し込みを完了された方には、参加のご案内と参加用URL・パスワードを当日までにメールでお送りいたします。なお、別日に接続テストを行います。詳細はメールでお送りしますが、Zoomの接続に不安のある方は是非ご参加ください。

【申込方法】 右下のQRコードからリンクされる申込フォームからお申し込みください。参加費は、申込フォーム送信後の自動返信メールにて案内される方法でお振込みください。詳細は4月発行の「News Letter ちば No.26」をご参照ください。

【申込締切】 令和3年5月31日(月)



主催：一般社団法人 千葉県公認心理師協会 共催：一般社団法人 日本臨床心理士会 (予定)

E-mail: office@cacpp.or.jp HP: <https://www.cacpp.or.jp/>

※本研修会は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の定める「臨床心理学に関するワークショップ」として申請し、認められた場合、参加者にはいわゆる「第4群」として2ポイントが付与される予定です。

※当会HPからもアクセス可能です